

報告事項 3

平成24年度全国学力・学習状況調査の結果について
このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成24年8月23日

義務教育課

平成24年度全国学力・学習状況調査の結果について

義務教育課

平成24年4月17日（火）に、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の国による公表結果が県に提供されましたので、本県の結果の概要についてお知らせします。

1 本県の抽出・希望利用の状況（名古屋市、特別支援学校を含む）

		抽出校数	抽出校の割合	希望利用校数	希望利用校の割合	抽出+希望利用の割合
愛知県	小学校	112校	11.4%	135校	13.7%	25.1%
	中学校	94校	22.2%	51校	12.1%	34.3%
	合計	206校	14.6%	186校	13.2%	27.8%
(全国)		9,449校	30.7%	16,045校	52.2%	82.9%

2 教科に関する調査の結果

○ 全体の傾向

- ・ 国は、「平成24年度全国学力・学習状況調査」結果の概要として、「都道府県の状況については、平均正答率を見ると、22年度同様、ほとんどの都道府県が平均正答率の±5%の範囲内にあり、ばらつきが小さい」と判断しており、本県の調査結果は、すべて、国が示している±5%の範囲内に入っている。
- ・ また、小・中学校ともに、国語、算数・数学、理科において、正答数別の児童生徒の分布状況は、全国とほぼ同様の結果となった。

○ 小・中学校の傾向

本県と全国の「平均正答率の信頼区間」※を比較すると、以下のような傾向が見られる。

- ・ これまでと同様、小学校よりも中学校の結果が高い。
- ・ 小学校では、国語、算数ともに、知識に関する問題で、全国をやや下回る結果となった。
- ・ 中学校では、国語は全国と同程度であり、数学は全国を上回っている。
- ・ 新たに追加された理科については、小学校はほぼ全国と同程度で、中学校は全国を上回っている。

※ 平均正答率の信頼区間…95%の確率で、悉皆調査の場合の平均正答率が含まれる範囲のこと。

○ 調査ごとの傾向（括弧内は全国（公立）の数値）

		平均正答率の 信頼区間 (%)	主な傾向
へ 小 学 校 へ	国語A（知識）	県 79.8～81.4 国 (81.4～81.7)	全国平均よりやや低く、上位層がやや少ない。
	国語B（活用）	54.0～56.1 (55.4～55.8)	全国平均と同程度で、正答数別の児童数の分布も全国とほぼ同様である。
	算数A（知識）	71.1～73.0 (73.1～73.5)	全国平均よりやや低く、上位層がやや少ない。
	算数B（活用）	58.3～60.4 (58.7～59.1)	全国平均と同程度で、正答数別の児童数の分布も全国とほぼ同様である。
	理 科	59.3～61.0 (60.8～61.1)	全国平均と同程度で、正答数別の児童数の分布も全国とほぼ同様である。
へ 中 学 校 へ	国語A（知識）	74.7～75.8 (75.0～75.2)	全国平均と同程度で、正答数別の生徒数の分布も全国とほぼ同様である。
	国語B（活用）	63.0～64.2 (63.2～63.4)	全国平均と同程度で、正答数別の生徒数の分布も全国とほぼ同様である。
	数学A（知識）	64.2～65.8 (62.0～62.3)	全国平均より高く、上位層が多く下位層は少ない。
	数学B（活用）	49.9～51.9 (49.2～49.5)	全国平均よりやや高く、上位層が多く下位層はやや少ない。
	理 科	53.0～54.4 (50.9～51.1)	全国平均より高く、上位層が多く下位層が少ない。

※ 理科は本年度、A問題とB問題を分けずに実施した。

3 児童生徒質問紙調査（生活習慣や学習環境等に関する調査）の結果

(1) 小学校の結果

○ 肯定的な回答の割合が全国値よりも高い項目

- ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- ・ 学校のきまりを守っていますか。
- ・ 学校や塾の先生や家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり、勉強を教えてもらったりすることがありますか。 など

○ 肯定的な回答の割合が全国値よりも低い項目

- ・ 普段（月～金曜日）、6時30分より前に起きますか、10時より前に寝ますか。
- ・ 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。
- ・ 普段（月～金曜日）、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム含む）をする時間は2時間以内ですか。 など

(2) 中学校の結果

○ 肯定的な回答の割合が全国値よりも高い項目

- ・ 自分には、よいところがあると思いますか。
- ・ 普段（月～金曜日）、6時30分より前に起きますか。
- ・ 家で、学校の宿題や授業の予習をしていますか。 など

○ 肯定的な回答の割合が全国値よりも低い項目

- ・ 近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。
- ・ 新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか。
- ・ 授業で、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思いますか。 など

4 調査結果の活用に向けた愛知県の取組

愛知県は、これまでも、県全体の傾向を踏まえた改善の指針や、全国学力・学習状況調査の問題を活用した学習指導の改善・充実への方策を市町村教育委員会に示し、小・中学校の学力向上に向けた取組を支援してきた。

今回も、分析結果を「学力学習状況充実プラン」としてまとめ、市町村教育委員会に配付するとともに、国から示される「授業アイデア例」*の積極的な活用を各小・中学校に呼びかけていく。

※「授業アイデア例」… 本年度の調査結果から浮かび上がった課題から、その解決や改善のための授業アイデア例を報告書にまとめたもので、9月ごろ文部科学省から発出される予定。